

化学療法レジメン

病名 非ホジキンリンパ腫 レジメン登録番号 内科1

レジメン名(略語) R-CHOP 医長名 北野

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5	6	7
リツキサン		375 mg/m ²	下記参照	Div							
エンドキサン	CPM	750 mg/m ²	3 h	Div							
アドリアシン	ADM	50 mg/m ²	1 h	Div							
オンコピン	VCR	1.4 mg/m ²	20m	IV							
プレドニン	PSL	100mg/body		PO							

1コース 3週間隔を原則

総コース数 6～8クール

注意事項 リツキサンは1 mg～2 mg/mlに調製する。

リツキサン投与時、前投与薬としてポララミン6 mgおよびカロナル400 mgを内服。

リツキサン初回投与は25 mg/hから開始、1時間後副作用なければ開始1時間後に100 mg/hさらに開始2時間後に200 mg/h。2回目以降は初回副作用なければ100 mg/hから開始。

腫瘍量が多い場合等CHOP単独療法施行後開始する。

エンドキサン等の投与に1日間隔を空けないことあり。

オンコピンは2 mg/BODYが上限。

化学療法レジメン

病名 非ホジキンリンパ腫 レジメン登録番号 内科2

レジメン名(略語) CHOP

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5
エンドキサン	CPM	750mg/m ²	3h	Div					
アドリアシン	ADM	50mg/m ²	1h	Div					
オンコピン	VCR	1.4mg/m ²	20m	IV					
プレドニン	PSL	100mg/body		PO					

1コース 3週間隔を原則

総コース数 3～8クール

注意事項 オンコピンは2mg/BODYが上限。

化学療法レジメン

病名 B細胞性リンパ腫 レジメン登録番号 内科3

レジメン名(略語) リツキサン

DAY

化学療法薬剤名・略語	1日投与量	投与時間	投与方法	1	・	8
リツキサン	375 mg/m ²	下記参照	Div			

1コース 1回/週 × 8その後6ヶ月毎4クール

総コース数

注意事項 リツキサンは1 mg ~ 2 mg/mlに調製する。

リツキサン初回投与は25 mg/hから開始、1時間後副作用なければ開始1時間後に100 mg/hさらに開始2時間後に200 mg/h。2回目以降は初回副作用なければ100 mg/hから開始。

化学療法レジメン

病名 非ホジキンリンパ腫 レジメン登録番号 内科4

レジメン名(略語) MXT-HOPE療法

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4
メソトレキサート	MTX	20mg/body		PO				
ソルコーテフ		100mg/body		Div				
オンコピン	VCR	1mg/body		Iv				
ラステット	VP-16	25mg/body		PO				
ペラゾリン		400mg/body		PO				

1コース 2～4週毎に繰り返す

総コース数

注意事項

化学療法レジメン

病名 急性骨髄性白血病 レジメン登録番号 内科5
(寛解導入療法)

レジメン名(略語) IDR + Ara-C

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5	6	7
イダマイシン	IDR	12 mg/m ²	30 m	Div							
キロサイド	Ara-C	100 mg/m ²	24 h	Div							

1コース 14から28日

総コース数 2コース

注意事項 イダマイシンはダウノマイシンに比べて粘膜障害が強く発現し骨髄抑制が遷延する可能性あり。
Ara-Cは2～3回に分割して24時間持続点滴投与
副腎皮質ホルモン剤は使用しないが制吐剤等は使用してよい
第一コースで寛解に到達しなければ第2コースを行う。原則的にDAY28以降。ただし
14以降で明らかに芽球増加認めれば早期に開始してよい。

化学療法レジメン

病名 急性骨髄性白血病 レジメン登録番号 内科6
(寛解導入療法)

レジメン名(略語) DNR + Ara-C

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5	6	7
ダウノマイシン	DNR	50 mg/m ²	30 m	Div							
キロサイド	Ara-C	100 mg/m ²	24 h	Div							

1コース

総コース数 2コース

注意事項 Ara-Cは2～3回に分割して24時間持続点滴投与
副腎皮質ホルモン剤は使用しないが制吐剤等は使用してよい
第一コースで寛解に到達しなければ第2コースを行う。原則的にDAY28以降。ただし
14以降で明らかに芽球増加認めれば早期に開始してよい。

化学療法レジメン

病名 急性骨髄性白血病 レジメン登録番号 内科7
(地固め療法)

レジメン名(略語) Ara-C大量療法

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5
キロサイド	Ara-C	2g/m ²	3h	Div					

1コース

総コース数 3回

注意事項 500mlに溶解し3時間で点滴。12時間毎に繰り返す。

投与は原則好中球1500/ μ l、血小板10万/ μ l以上に回復した後1週間経過してから。

60歳以上は1.5g/m²へ減量あり。

角膜炎予防のためリンデロン点眼を6時間おきに点滴終了24時間後まで行う。

発熱、皮疹にはソルコーテフ100mg投与。

化学療法レジメン

病名 悪性リンパ腫 レジメン登録番号 内科9

レジメン名(略語) ESHAP療法

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5
ラステット	VP-16	40mg/m ²	1h	Div					
ランダ	CDDP	25mg/m ²	24h	Div					
キロサイド	Ara-C	2g/m ²	3h	Div					
ソルメドロール	Ara-C	500mg	30m	Div					

1コース 3から4週間

総コース数

注意事項 CDDP投与前には1000mlから2000mlの補液を4時間以上かけて行い十分な尿量を確保する。

G-CSF DAY6以降好中球5000/μl超えたら中止

化学療法レジメン

病名

悪性リンパ腫

レジメン登録番号

内科10

レジメン名(略語) DeVIC療法

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3
イホマイド	IFM	1500mg/m ²	2h	Div			
パラプラチン	CB DCA	300mg/m ²	1h	Div			
ラステット	VP-16	100mg/m ²	1h	Div			
デカドロン	DEX	40mg	20m	Div			
ウロミテキサン	Mesna	300mg/m ² × 3	3h × 3回	Div			

1コース

3週間ごと

総コース数

注意事項

70歳以上は薬剤量30%減量

メスナはイフォスファミドによる出血性膀胱炎の予防に投与する。十分な尿量確保、尿のアルカリ化に留意する。

G - CSFをDAY4より使用が望ましい。

化学療法レジメン

病名 急性骨髄性白血病 レジメン登録番号 内科11
(地固め)

レジメン名(略語) 地固め第一 MA

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5
キロサイド	Ara-C	200mg/m ²	3h	Div					
ノバントロン	MIT	7mg/m ²	30分	Div					

1コース 3週間ごと

総コース数

注意事項 キロサイドは1日量を2～3回に分割し24時間持続点滴する。

化学療法レジメン

病名 急性骨髄性白血病 レジメン登録番号 内科12
(地固め)

レジメン名(略語) 地固め第二 DA

DAY

化学療法薬剤名・略語		1日投与量	投与時間	投与方法	1	2	3	4	5
キロサイド	Ara-C	200mg/m ²	24h	Div					
ダウノマイシン	DNR	50mg/m ²	30m	Div					

1コース 3週間ごと

総コース数

注意事項 第一コース終了後可及的早期に開始する。原則的に好中球1500/ μ l、白血球3000/ μ l、血小板10万/ μ l、以上となったら治療開始する。骨髄抑制が非常に高度。キロサイドは1日量を2~3回に分割し24時間持続点滴する。第二終了後血小板が10万/ μ lに回復したいMTX(15mg/body) + Ara-C(40mg/body) + PSL(10mg/body)の髄腔内注入を行う。